

市議会だより

12月定例会

- 令和2年度一般会計補正予算案を可決
- 公の施設の指定管理者の指定についてなど可決

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
議決結果・人事案件	④
市政に対する一般質問	⑤～⑩
陳情・意見書	⑪
市議会案内板	⑫



議案の審議

■一般会計補正予算など24件を議決

12月定例会は、11月27日から12月18日までの22日間（うち会期延長3日間）開かれ、市長提出議案21件、議員提出議案2件、その他1件について審議等を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

⑧1 飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員並びに埼玉県及び近隣市の職員の給与と改定状況を勘案し、令和2年12月期の再任用職員以外の職員に係る期末手当の支給割合を100分の125に改め、令和3年度から、6月期及び12月期の支給割合を100分の127.5に改めるため提案するもの。

問 職員組合との協議状況は。

答 人事院勧告等の内容を説明し、組合側からは全国的な新型コロナウイルス感染症の影響ということで同意を得て、覚書を締結した。

⑧3 令和2年度飯能市一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億8702万9千円を追加し、総額をそれぞれ397億8163万円とし、繰越明許費の設定、債務負担行為の追加、地方債の変更を行うため提案するもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
国庫支出金	1億 633万円
繰入金	△5,958万円
市債	2億5,380万円
歳出	
財政調整基金積立金	4,726万円
地区行政センター施設管理事業	1億1,130万円
保育所施設管理事業	1億4,250万円
生活保護扶助事業	1億3,995万円

問 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したイベントの事業数等は。

答 イベント数は27事業、不用額は総額約5657万円。

問 不用額を積立てた財政調整基金について、今後の使途方針は。

答 今後の歳入減への対応、収支均衡を図るために活用するとともに、臨時交付金を活用した第3次緊急経済対策を検討しているため、その財源としての活用を考えている。

問 加治東地区行政センター及び加治東保育所の耐震補強改修工事について。

答 当初予算で設計業務委託料を計上し、ここで概算工事を算出できたので計上したものの、充当率100%、交付税措置率70%の緊急防災・減災事業債を活用し、工事等の関係により全額を繰越明許費とした。新施設の特徴は、エレベーター棟の増設や待機児童対策のひとつとして児童の受け入れ枠の拡大につなげるため、新たな保育室を設けることなどである。

問 母子家庭等高等職業訓練促進給付金の給付状況は。

答 介護士や准看護師を目指す4名に給付している。

⑧4 令和2年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定の歳入歳出それぞれに1億4657万6千円を追加し、南高麗診療所勘定の歳入歳出それぞれに4万1千円を追加し、名栗診療所勘定の歳入歳出それぞれから17万9千円を減額するため提案するもの。

問 国民健康保険財政調整基金積立金の残高は。

答 令和元年度末時点の残高は、約2億8194万円であり、令和2年度末の残高もほぼ同額の予定である。

⑨2 令和2年度飯能市水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出の営業費用は配水等の修繕費を増額し、総係費の負担金を増額した。

問 配水及び給水費の修繕費の増額要因は。

答 令和2年度の上半期に昨年同期の1.4倍の漏水件数があったこと、大口径管の漏水など1か所当たりの費用が高額なもも発生したことによる。

⑨3 令和2年度飯能市下水道事業会計補正予算（第1号）

資本的収入は国庫補助金を増額し、資本的支出の処理場建設改良費は委託料を増額した。

問 資本的収入における国庫補助金の増額要因は。

答 県内自治体から社会資本整備総合交付金の不用額が出たため追加要望をしたところ、追加配分される内示を受けたことによる。

問 資本的支出における処理場建設改良費の増額要因は。

答 社会資本整備総合交付金の内示により浄化センターの沈砂池ブロー棟の耐震診断を1年前倒しで実施するため。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。12月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務教育委員会

⑧③ 令和2年度飯能市一般会計補正予算(第8号)

●人件費の減額は、期末手当の改定に伴う割合変更によるものと人事異動等に伴う見直しによるものであること。

●職員の時外勤務は、イベントや事業が中止となる中、コロナ対応のための新事業を行っている部署もあるので相応にあるが、職員に負荷がかからないよう努力していること。

●中学校費の会計年度任用職員人件費は、中学校の教員代員が県費で任用されるまでの間、市費で任用するための予算計上であること。

生活福祉委員会

⑧③ 令和2年度飯能市一般会計補正予算(第8号)

●ふるさとほんのう応援事業は、現在8か所のポータルサイトで受付しているふるさと納税の寄附受入れが見込みにより増額するための補正であること。

●加治東地区行政センターの耐震補強・改修工事は、1階北側側面に耐震スリット3か

所を入れること、外壁の劣化部分の地下補修をすること、屋上の防水層の更新を行うこと、11人乗りのバリアフリー対応エレベーターを設置すること等であること。

●生活保護扶助事業のうち医療扶助1億円超の増額については、入院件数及び入院単価の増によること。

●要保護児童等に関する情報共有システムは、国が児童相談所と市町村で夜間・休日も含めた情報の共有ができる仕組みを予定しており、市の家庭児童相談システムと連携できるよう機能追加するものであること。

⑧④ 令和2年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●コロナ禍における本市の国民健康保険の医療費については、令和2年4月から8月までの診療分が昨年度より約8・9%減少していること。

⑧⑨ 令和2年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第3号)

●システム改修の主なものは、今まで総合事業を利用していただく方が要介護認定を受けた場

合も引き続き総合事業を利用することが可能となったこと、12月末に介護報酬が改定されること等であること。

⑧④ 公の施設の指定管理者の指定について(飯能市高齢者福祉施設敬愛園)

●施設は建築後約20年を経過するが、修繕計画に基づき緊急性の高いものから予算の範囲で修繕していること。

経済建設委員会

⑧③ 令和2年度飯能市一般会計補正予算(第8号)

●今回の補正に係る農業次世代人材投資資金の対象者は、米、小麦、大豆等を経営作物として埼玉県特別栽培農産物認証を目標していること。

●舗装打換工事の箇所は、川寺上野線の飯能中央地区行政センターから稲荷分署人口交差点までの区間で特に舗装状況の悪い3か所、併せて約280mであること。

⑧② 令和2年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)

●大口径の漏水は、本郷配水場から旧飯能地区に配水をしてい

る口径500ミリの管が老朽化によりピンホールが開いた状況であったこと。

⑧⑤ 公の施設の指定管理者の指定について(飯能市ふれあい農園施設)

●ふれあい農園施設の取組状況は、バーベキュー事業、総合管理棟での飲食の提供、研修室の貸出し、栗拾い等の交流事業であること。

●今後の経営に対する市の支援については、指定管理料の支払いのほか、鳥獣被害対策支援や埼玉県と連携した農業の技術支援等も実施したいと考えていること。

⑧⑥ 公の施設の指定管理者の指定について(飯能市林業センター)

●森林経営管理制度の施行に伴い、飯能市全体の森林のうち特に森林管理に対する所有者の意欲の薄れた森林は、市や西川広域森林組合が中心となり一括管理することができれば理想と考えていること。

●西川広域森林組合の経営は、ここ3年連続で決算が黒字化を実現しており、確実に経営改善が進んでいること。

令和2年12月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方:○は賛成の議員、×は反対の議員、「欠」は欠席の議員

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		新井重治	坂井悦子	関田直子	大津力	野口和彦	内田健次	平沼弘	栗原義幸	中元太	松橋律子	滝沢修	山田利子	新井巧	金子敏江	加藤由貴夫	砂長恒夫	鳥居誠明	加浦弘貴	野田直人	
94	公の施設の指定管理者の指定について (飯能市高齢者福祉施設敬愛園)	○	×	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
95	公の施設の指定管理者の指定について (飯能市ふれあい農園施設)	○	×	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
96	公の施設の指定管理者の指定について (飯能市林業センター)	○	×	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※平沼弘議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

※表の見方:議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
79	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
80	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
81	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
82	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
83	令和2年度飯能市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
84	令和2年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
85	令和2年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
86	令和2年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
87	令和2年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
88	令和2年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
89	令和2年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
90	令和2年度飯能市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
91	令和2年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	原案可決
92	令和2年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
93	令和2年度飯能市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
97	市道路線の認定について(大字中居地内)	原案可決
98	令和2年度飯能市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について(井上 貢一氏)	異議はない
議提8	住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書	原案可決
議提9	犯罪被害者支援の充実を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派遣

市議会傍聴のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りの自粛をお願いしています。

傍聴される方には、以下のお願いをしています。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

- 1 咳エチケット、マスクの着用
- 2 手洗い及び傍聴席入り口での手指消毒
- 3 他の傍聴者との間隔をあけた着席



井上 貢一氏

人権擁護委員大川戸恒治氏が令和3年3月31日をもって任期満了となるので、新たに井上貢一氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

人権擁護委員候補者の推薦について

人事案件



野田 直人 (みどりの会)

日本一の市政を目指して

問 大久保市長は、就任直後には、子ども医療費の中学生までの無償化を実現し、その後の中学生までの子どもインフルエンザ予防接種費用の無償化、不妊治療助成制度の創設、ゼロ歳児おむつ無償化など女性と子どもにやさしいまちづくりを進めてきた。また、大河原工業団地の企業立地100%を達成したほか、大平きのご研究所の誘致、自主財源確保のための、ふるさと納税拡充を図った。あけぼの子ども森公園には、トーベ・ヤンソン氏の名を冠するとともに、北欧風のカフェをオープンした。また、先月就任された入間市の杉島市長と大変深い親交があり、杉島市長の掲げる「公約2020」の政策宣言には、「元加治駅に南口を開設し、阿須・あけぼの公園へのアクセスの利便性向上を図る」という文言が盛り込まれたと聞いている。他にもメッツァの誘致、ムーミンバレーパークの開設は、飯能市の歴史、世界の歴史に残る大きな出来事である。市長は、一時期体調を崩されたが、見事にカムバックを果たされた。ここで市長に、市長選3期目に出馬するのかないのか、お聞かせ願いたい。

答 私は、飯能市が勢いを増してきたと。飯能に住んでよかった。そして、飯能に住みたいと。飯能はまさに人を惹きつける魅力があるまちでなければならないと思っている。体調も万全、そして飯能市が発展可能性都市へと移ったこの時期、ぜひ発展都市へとする。ぜひご理解を頂き、住んでよかった飯能、住みたい飯能に次の4年間、しっかりとやっていきたい。



メッツァ



市政に対する



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は11人の議員が登場しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



大津 力 (NEXTはんのう)

第5次飯能市総合振興計画前期基本計画について

問 交流人口480万人にむけて、どのような観光施策に取り組んできたか、都市回廊空間の構築、山間地域への人の誘導は。

答 メツツアビレッジ、ムーミンバレーパークのグランドオープンを契機に、大きな人の流れを生み出し、トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園、天覧山・飯能河原周辺を結ぶトライアングルゾーンを都市回廊空間として、魅力向上に取り組み交流人口は約410万人まで飛躍的に増加した。山間地域へ人の流れをつくる方策として、名栗地区の農林産物加工直売所をノーラ名栗としてリニューアルした。ノーラ名栗では、従来からの名栗まんじゅうなどの地場製品の製造、販売に加え、北欧風のBBQ、薪ストーブを使用したテントサウナ、さらには西川材を使用したステージを建築し、観光的視点を取り入れた新たな魅力を発信している。

問 転入・転出の社会増減の状況は。

答 平成26年が112人の減だったが、平成27年には17人の増とプラスに転じ、平成28年は166人の増、平成29年は186人の増、平成30年は38人の増、令和元年は265人の増となっている。

問 「飯能住まい」制度の成果は。

答 今までに30家族、97人から申請をいただき、既に18家族、55人の方が本市に移住された。

問 「飯能住まい」制度の対象エリア拡大についてはどうか。

答 南高麗地区における飯能住まい制度の対象エリア拡大に向け、現在、埼玉県と協議を行っている。拡大後の具体的なエリアや開始時期等については、埼玉県知事との協議が整ったら、改めて報告する。



内田 健次 (飯能みらい)

投票率向上のために
森林・林業・木材産業活性化のために

問 2021年は市議選、市長選、衆院選と3回の選挙が行われる予定であるが、各々の前回の投票率の状況と分析は。

答 市議選50.3%、市長選42.76%、衆院選52.52%である。一般的に投票率には様々な要素があるが、全国的にも低落傾向である。

問 以前から「その自治体の成熟度を表している」と申し上げているが、どのような施策を行うか。

答 啓発活動として、若年層に向けては中学校の生徒会選挙への投票箱の貸し出し、市内県立高校では主権者教育、また、駿大生による選挙サポーターの活動として期日前投票所の立会や駿輝祭での模擬投票、高校生への主権者教育の協力。その他広報はんのう、市ホームページ、駅前の街頭啓発を行っている。

問 移動期日前投票所の導入については。

答 適所がなく、管理執行に難点がある等現段階では難しい。

問 投票率の目標値を設定すべきでは。

答 天候などに左右されるので具体的には困難だが、一人でも多くの投票を望み、研究を続ける。

問 2019年4月に森林経営管理法が施行されたが、市では森林・林業・木材産業活性化のためにどのような施策を講じるか。

答 水源地域間伐事業や木材安定供給を実現するスマート産業に取り組む。また、林業だけでなく、観光や教育健康づくり、スポーツなど憩い学びの場として利活用を進め、林業不振にあえぐ自治体のモデルとなるような「飯能モデル」として全国に発信していきたい。

問 主導は。

答 西川広域森林組合や西川地区木材業組合、飯能市森林認証協議会や西川地域スマート林業協議会などと協力し役割を果たす。





新井 巧 (日本共産党)

運転免許自主返納者に支援策をタブレット活用で十分な検証を求め

問 連日のように、高齢者の事故が報道され、不安が高まっている。運転免許証の自主返納、自治体での支援の状況はどうか。また、公共交通網の乏しい飯能市として、吾野地域で始まった住民主体のらくらく交通を含めたタクシー利用券やバス回数券交付など支援をしてほしいが。

答 返納は令和元年度は前年より150件増えている。県内ではバス回数券や割引、タクシー利用券の発行など50自治体で何らかの支援をしている。迷っている方に返納を促す方策としては有効と考えるが、市としてはまず、交通手段が不十分な地域に必要な移動手段を確保することを重点的に進めていく。

問 全国をみると生活保護基準の1.5倍程度以下の方には入院だけでなく、外来にも窓口払い減免を認めている自治体もある。白内障などはほとんどが入院ではなく、日帰り手術となっている。経済困窮の中で、国保の窓口負担減免を入院だけでなく、外来まで拡大してほしいが。

答 現在は拡大を検討していないが、日帰り手術であっても、入院施設があって入院としての診療報酬を請求するような場合には対象になる。

問 全児童・生徒にタブレットが導入されたが、依存症や視力低下など健康被害が指摘されている。養護教員・教師と市教委が連携し、健康問題等を検証しながら活用することが重要では。

答 視力低下など定期的な検診体制で子どもたちの健康を守っていく。

問 タブレット導入で、補助対象外の負担が5年間で5億2千万円にもなる。第一小学校など多くの学校で雨漏りやトイレの故障、エアコンが古く効かないなどの実態がある。教育環境整備の予算が後回しになるようでは困るが。

答 タブレット同様、施設整備も重要。安全、安心のために教育環境を整備していく。



加瀬 弘貴 (飯能みらい)

令和3年度予算編成について阿須小久保線阿須工区について阿須東部地区への下水道整備

問 来年度はコロナ禍での経済活動の停滞で企業業績、個人所得の落込みから市税の大幅な減収が懸念される。歳入の見通しと歳出の方針は。

答 今年度当初予算比で大きな減収を見込んでいる。政策効果の高い事業を取捨選択し、重点施策のシンボルプロジェクトを基本に生活支援、事業者支援、社会保障など切れ目なく実施する。また新型コロナウイルス感染症対策について、本市独自の第3次緊急経済対策を国の方針が示され次第、補正予算を編成するなど素早く講じる方針。

問 重点施策としてシンボルプロジェクトに掲げている阿須小久保線阿須工区の事業予算について双柳岩沢線が本年度末に国道299号市役所入口交差点まで供用開始となる。また、西武線の跨線橋工事も順調に進み令和3年度末に完成とのことから、阿須工区について新年度での道路整備が求められてくる。優先度の高い事業と思うが来年度の方針は。

答 引続き権利者の方と用地交渉を進めており来年度には工事に着手できるよう全力で取り組む。

問 阿須小久保線阿須工区が開通すれば、国道299号までの未開通の阿須小久保線の迂回路ができ道路ネットワークの強化、利便性の向上が期待できる。全力で取り組むとの力強い答弁をいただいた。来年度に予算化し事業を進めていただくようお願いする。また、阿須工区の道路整備に合わせて阿須東部地区の下水道整備を進める方針と伺っているが状況は。

答 阿岩橋右岸側から県道富岡入間線まで道路整備に併せ下水道を整備する方針で準備を進める。

要望 長年にわたり要望してきたが、道路との一体整備の効果に加え、下水道整備への地域住民の期待は高い。下水道整備についても来年度には予算化し、ぜひとも地域住民の長年の期待に応えていただくよう市長にも重ねてお願いする。



埼玉県警察チラシ「運転免許の自主返納」



令和3年3月末に開通予定の双柳岩沢線 国道299号市役所入口交差点付近





鳥居 誠明 (清風会)

第5次飯能市総合振興計画・精明東部の土地利用について
行財政改革について

- 問** 後期基本計画はどのように策定していくか。
- 答** 策定期間を1年先送りとした。これまでの重要施策を引き継ぎ森林の有効活用に挑戦したい。
- 問** これからのまちづくりでの地域課題とは。
- 答** 農業・山間地域の人口減少や高齢化。流動人口を市域全体に誘導し地域の活性化に繋げる等。
- 問** 令和7年度の目標人口は8万人だが11月現在7万9千人である。達成の見通しと計画は。
- 答** 平成27年度から社会増となっているが自然減が大きく人口減となった。全力で取り組む。
- 問** 農のある暮らし「飯能住まい」や「空き家バンク制度」により転入された方の人数は。
- 答** 両制度で43家族、106人が転入された。
- 問** 「飯能住まい」制度の精明東部への展開は。
- 答** 農地法等の規制があり同地区への導入は困難。
- 問** 商工業の振興支援で前期実績と後期の取組は。
- 答** 新規出店促進事業や創業支援事業等の補助制度を商工会議所と共に行った。今後も継続する。
- 問** 企業誘致で新規雇用の今年度末目標と実績は。
- 答** 目標は1,500人で実績は1,883人だった。
- 問** 企業誘致の目的は定住人口の増加。新規雇用は増えたが人口減少している。更なる推進を。
- 答** 企業誘致は労働年齢も若く人口増に繋がる。さらなる誘致や起業・出店等で雇用創出に努める。
- 問** 未耐震化の避難所は付近の民間に協力依頼を。
- 答** 働きかけを行っている。決まれば公表する。
- 問** 市街地の雨水排水整備の今後の取組は。
- 答** 冠水等の状況に応じて基盤整備を進めていく。
- 問** 飯能駅周辺は総合的に見直し整備が必要だが。
- 答** 流動人口を商業地へ誘導、防災対策、民間の共同住宅による整備等を今後も進めていく。
- 問** 精明東部の調整区域、農業用地の規制緩和を。
- 答** 関係機関と連携し企業の農業参入等を図る。
- 問** 第7次飯能市行政改革では数値目標の設定を。
- 答** 次期計画では成果等をどう表すか検討する。



中央通り



山田 利子 (日本共産党)

阿須山中問題で市長の政治姿勢を問う

- 問** 阿須山中問題についてTBSの「噂の東京マガジン」を見た方も含めて、私どもの市民アンケートでは豊かな自然を破壊しサッカー場とメガソーラーを建設することに反対する声が、7割になっている。「加治丘陵の自然を考える会・飯能」からも工事の中止と計画の白紙撤回を求める13,500人を超える署名が市長に提出されている。市教育委員会も「飯能のお宝スポット」として紹介してきた自然の宝庫だ。市有地であり、調査もせずに民間に貸し出し大規模開発させるなどとんでもない。また、市はこの事業が地方創生事業であり、本体はボカジュニアのサッカー練習場で、メガソーラーはその付帯設備であるかのように説明しているが、県の森林審議会でも、「メガソーラーありきではないか」「サッカー練習場はメガソーラー施設の調整池になっている」と指摘されている。加治丘陵の市有地に大規模なメガソーラー施設を造るといふ本当の狙いを覆い隠してきたではないか。そして、公募規定にある公募期間中は「接触の禁止」がある。期間以前のつながりについて、事業者と市長のつながりは以前からあり、公募の日にはアルゼンチン大使館を訪問し大使と撮った写真を事業者の事業提案書に掲載している。市長のお墨付きでありまさに市長案件・市政私物化ではないか。
- 答** 私が何か悪者、疑惑というふうなことを言われたが、この事業に関して私は逃げないぶれないを信条においてこれからも堂々とやっていく。どなたと会っても、不正がなければいいのではないか。決してそのことに関して、うちの方でお金に絡むこととかがなく、公平公正なことで市民に会うことが、何か悪いことがあるのか。疑惑を前面に出すのはやめてほしい。



伐採され始めた阿須山中





金子 敏江 (日本共産党)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策で
介護・医療・教育・保育現場の
職員へPCR検査の徹底を

問 「埼玉県指定診療・検査医療機関」の指定病院として、飯能市内に15か所の「発熱外来PCRセンター」を設置したことが12月1日、県のホームページで公表された。発熱患者は、直接、医療機関に連絡し受診できるようになった。さらに、一度の検体採取で、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを同時に検査できる検査キットを導入し、判別できる体制が整った。第3波が襲ってきている中で、人との接触が不可欠な介護・医療・教育・保育現場で働く職員に定期的な検査を行い、無症状者を含めた感染者の把握が必要だ。また、高齢者、基礎疾患を有する方で、希望すればPCR検査が受けられるように、検査費用への助成を実施していくべきと思う。県内26自治体で助成事業を実施しているが、飯能市はいかがか。

答 第1波の時は、濃厚接触者であっても症状が出ていない場合は検査が受けられないといった問題があった。その後、検査体制の充実に合わせて、施設内で発生した場合には、クラスターの発生を抑制する観点から、濃厚接触者でなくても検査対象として枠を広げ、検査を実施しているところ。現在、埼玉県では、集団において関連性が明らかでない状況の中で、複数の患者が感染するなど検査前での感染の確率が高いと考えられ、かつ、感染リスクが高いと判断される集団や組織に属するものは、新型コロナウイルス感染症にかかっている疑いがある者として検査の対象を広げるものとしている。このように、保健所を中心として、感染拡大に合わせて検査範囲も広がっており、一律に定期的な検査を実施することなく、効率的かつ効果的な検査体制が整備されている。また、検査費用の助成については考えていないが、様々な懸案事項を総合的に取り組むべきであると考えている。



坂井 悦子 (日本維新の会)

地域医療構想
地域医療支援
医療費の適正化について

問 新型コロナウイルス感染症を機に、医療提供体制の課題が明確に。地域医療構想による医療機能の分化・連携が進めば課題に対応できたという指摘もある。地域主体として市の考えは。

答 埼玉県西部地域保健医療・地域医療構想協議会での市内の実情を踏まえた議論に参加。

問 案や方向性が決まれば判断するのは、コロナ禍において適切に動けるか疑問。地域医療をどう支援できるか、これまでの取組や発言は。

答 県策定の地域保健医療計画や病院整備計画に意見を求められ回答。

問 医療アクセスは社会保障制度の根幹。病床の機能分化・連携の結果、市内病院の負荷が増し、医療機関の地域偏在や受療機会の格差が生じないか懸念。医療水準維持に向けた対策の検討は。

答 地域全体として適切に今後の方向性を協議しており、市民の医療水準は維持されると考える。

問 西部地域自体で適切でも、市民の医療アクセスに影響する可能性がある。厚労省に地域医療介護総合確保基金による推進、事業交付がある。県の整備計画の範囲内で補助を要望しては。

答 協議会の議論で必要とされた場合、適切に判断。

問 戦略的な活用も可能。重点支援区域の選定制度は、国が技術的・財政的支援として地域医療介護総合確保基金の優先配分や、新たな病床ダウンサイジング支援を実施と明示している。西部区域で協議し、結論を得る努力をしては。

答 現時点では指定を受ける必要性は乏しい。

問 保険者努力支援制度は医療費の適正化に向けた取組等への支援制度。支援金増に向け、協会けんぽ等健保組合と協定等の締結を進め、連携し、効果的な保健事業を実施しては。

答 該当事業を実施し得点獲得に努力。地域団体とも連携。健保組合との連携は、市民全体の健康維持・増進の向上に寄与するため研究する。





加藤 由貴夫 (みどりの会)

市街地域における治水対策
NTTドコモとの連携
持続可能な新しい飯能に向けて

問 原町、前田、中山地区の雨水排水対策の現在の状況は。また、来年度の工事はどのように計画しているか。

答 既に設計委託を発注し、この地域の雨水排水対策で最も有効な方法を検討しているところ。地域性を考慮し、効果的、経済的かつ短期間で改善できる方策を選択し、来年度、工事まで実施できる工程を組んでいきたい。

問 NTTドコモと連携協定を締結することで、どのような可能性が広がっていくか。

答 NTTドコモでは、飯能市においてもできる限り早く5Gの環境を整えたいという意向を持っていると伺っている。先端技術の活用は、人々の暮らしがより便利で豊かになること、本市のまちづくりにおける取り組みの選択肢や、可能性が大きく広がるものと期待している。

問 土地開発公社の現在の状況はいかがか。

答 経営健全化計画において、民間売却とした土地について処分が進んでいない状況であることから、埼玉県とも調整し、市取得への変更、土地開発基金等による取得も含め、一部計画変更を行う予定である。令和4年度の解散に向け進めていく。

問 行政の継続性を基本としつつ、行財政改革、事業の見直しが必須である。「持続可能な新しい飯能」、「新しい飯能のカたち」をどのようなものにしていこうと考えているか。

答 社会動態も引き続き増加しており、「飯能市は選ばれるまち」であると自負している。都心からの距離感も相まって、コロナ禍の逆風が追い風となっているような状況である。しっかりと足元、市民の生活、幸せを守り、発展都市として、ポストコロナ時代に向けて「魅力あふれる都市、飯能」を施策総動員で進化させ、プロモーションしていきたい。



5Gで大きく広がる可能性



滝沢 修 (日本共産党)

双柳南部地区区画整理及び岩沢
南北の道路、下水道整備は
双柳岩沢線の安全対策は

問 双柳地区の住民の方から、双柳南部地区区画整理の事業見直し説明は受けたが、今後の進め方など、よく解らないなどの声がある。十分な情報提供が必要ではないか。

答 説明会では多くの方の理解を得られたと考えている。権利者の理解・協力は不可欠であり区画整理ニュースなどあらゆる機会を通じて情報提供を行う。

問 岩沢地区では既存道路の痛みも激しい、舗装の打ち換え等が必要ではないか。

答 岩沢地区は阿須小久保線などの幹線整備を進めており、区域内の道路整備が行き届かず不便をかけている。緊急性などを考慮し修繕してきた。道路の穴や陥没は、市民の皆さんから連絡があれば迅速に対応する。

問 岩沢地内の下水道は、幹線整備は行われたが接続できない方が多数いる。早期の整備が必要ではないか。

答 地区内では未整備箇所が点在しており早期整備を望まれていることは認識している。道路幅が狭かったり、既設埋設物があるなどの課題はあるが、大山街道東側、岩沢郵便局と西武線の間については整備できるよう、流下計画を見直し設計を行った。

問 国道299号、市役所入口交差点付近では今年度末には開通の予定で双柳岩沢線の整備が進められている。開通すると299バイパスと直結する東西道路となり交通量も増大すると考える。川寺、笠縫、岩沢の住宅街を通る道路となるので、万全な安全対策が必要ではないか。

答 双柳岩沢線の整備と合わせ、令和3年度末の阿須小久保線整備により、交通量の増加が予想されることから、県警との間で協議を進めており開通までには必要な安全対策を実施し、さらなる安全の確保に努めていく。



国道299号市役所入口交差点



市民から 市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

⑤陳情書(空き家・空き地等の有効活用に限定した宅地建物取引士証の提示による固定資産税評価証明書の交付に関する件等)

提出者

埼玉県宅建政治連盟

彩西地区

地区長 奥富 浩

市議会から

国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書(抜粋)

空き家等が増える一方、高齢者、障がい者等住居確保要配慮者は増え、災害による被災者への対応も急務となっている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活困窮者自立支援制度の住居確保給付金の支給決定件数は、半年間で10万件を超えている。

住まいは生活の重要な基盤であり、住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化は喫緊の課題となっている。

よって、国におかれては、左記の事項を速やかに実施するよう、強く要望するものである。

記

1 住居確保給付金の支給期間の延長、収入要件の引き上げ、支給上限額の引き上げなどを見直すこと。

2 住まいの確保に困難を抱えている人が住んでいる家をセーフティネット住宅として登録し、家賃低廉化制度を拡充すること。

3 空き家などの改修・登録に取組む不動産業者と貸主への支援を拡充すること。

4 住宅セーフティネット制度を拡充し、原状回復費用等に係る貸主の負担軽減を図ること。

5 居住支援法人活動支援事業において、障がい者や刑務所

出所者等への支援を厚く評価する制度を設けること。

6 生活困窮者及び生活保護受給者に対して、住まい確保のための一貫した支援を可能とする事業を継続的かつ全国で実施できるよう恒久化し、取組自治体の増加を図ること。

7 刑務所を出所した後の帰宅先の調整がなかなかつかない高齢者や障がい者等に対し、適切な帰宅先を確保するとともに、見守り支援を行う事業を創設すること。また、自立準備ホームの登録増を推進すること。

8 住生活基本法や住宅セーフティネット法等住宅施策全般において、行政の役割・責務を明確化し、抜本的な連携強化を図ること。また、地方自治体における住宅行政と福祉行政の連携強化を図ること。

9 重層的支援体制整備事業において、市町村の包括的支援体制の構築を進めること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、法務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて

犯罪被害者支援の充実を求める意見書(抜粋)

2004年に犯罪被害者等基本法が成立し、犯罪被害者は「個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利」の主体であることが宣言され、犯罪被害者支援策は一定の前進を果たした。しかしながら、犯罪被害者の多様なニーズに答えられるだけの整備は、未だ十分になされていないとは言い難い。

よって、国におかれては、犯罪被害者支援の充実を図るため、左記の事項を実施するよう強く要望するものである。

記

1 犯罪被害者が民事訴訟等を通じて迅速かつ確実に損害の賠償を受けられるよう必要な措置を講ずること。

2 犯罪被害者に対する経済的支援の充実と、手続的な負担を軽減する施策を講ずること。

3 公費による被害者支援弁護士制度を創設すること。

4 性犯罪・性暴力被害者のための病院拠点型ワンストップ支援センターを都道府県に設立し支援を行うこと。

5 全ての地方公共団体において、犯罪被害者支援条例が制定できるよう支援すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、法務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて

策定協議会が 開催されました

議会は、飯能市の中・長期的な計画の策定過程において、市長等に対し、議会との協議の場を設けるよう求めることができました。

12月17日に飯能市水道事業中期経営計画(後期)策定協議会が開催されました。



策定協議会

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>

飯能市議会議員選挙について

任期満了に伴う飯能市議会議員一般選挙(定数19人)の日程が、以下のとおりに決定いたしました。

告示期日…令和3年4月18日(日)

選挙期日…令和3年4月25日(日)

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

ハイック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

審議の日程

12月定例会

- 11月27日 開会
市長提出先議議案の質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程
- 12月 2日 会期延長
- 10日 議案質疑、議案の委員会付託
- 11日 常任委員会(総務教育・生活福祉・経済建設)
- 15日 一般質問
- 16日 一般質問
- 18日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

10月

- 7日 広報委員会
- 13日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

11月

- 9日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 10日 代表者会議
- 17日 全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 27日 第5回定例会(12月18日まで)
広報委員会

12月

- 17日 飯能市水道事業中期経営計画(後期)策定協議会

1月

- 7日 広報委員会

次回の3月定例会は

2月12日開会予定です。

会期日程等は2月9日頃内定します。

* 編集を終えて *

国も地方自治体も、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ対応が迫られています。国はコロナ対策として「新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金」を市町村に交付しました。コロナ対応に取り組み、将来を見据えた政策に充当される交付金です。

リモートワークもすすみ、飯能市の自然に恵まれた環境の中で仕事をしたいとの声も聞きました。地方創生の言葉も定着してきました。一日も早くコロナを克服し、安心して学び、働けるような日々が来ることを願い、住んでみたいと思っただけの飯能市を皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

(滝沢)

広報委員(◎委員長 ○副委員長)

◎内田 健次 ○関田 直子 松橋 律子
滝沢 修 砂長 恒夫 鳥居 誠明

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)
1/28~2/2、2/13~2/16、3/16~3/21

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711
(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)